



新谷中学校 2年 (大会出場時1年)

菊地 ^{のぞ} ^み 希実 さん

☆第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 出場 種目：100m背泳ぎ

菊地さんは、3月26日(日)から30日(木)に東京都で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に100m背泳ぎの種目で出場しました。小学校2年生から本格的に水泳を始めたという菊地さんですが、最初は背泳ぎが苦手だったそうです。その苦手を克服しようと自分の専門種目に決めて努力を続けた結果、見事ジュニアオリンピックの出場権を勝ち取りました。

大会に出場するためには標準記録を突破しなければなりません。「ストレスを溜めないのが私の長所」という彼女ですが、なかなか記録が出せずに悩む日もあったそうです。しかし、出場を賭けた最後の予選会では「朝起きたら『今日は絶対いける』という自信が湧いてきて、全くプレッシャーを感じずに結果が出せた」と笑います。さすがに本大会では緊張して会場の雰囲気呑まれてしまったそうですが、課題にしているスタートの改善に取り組みながら次回の出場を狙っています。

多い時は1日に7,000mも泳ぐという菊地さんですが、練習後はマッサージを入念に行い、水泳のことは取って置かず、気持ちを楽しんで、心も体も疲れを次の日に持ち越さないように気を付けているそうです。

HighSchool NOW

Vol.75 大洲高等学校肱川分校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

みなさんこんにちは！

大洲高等学校肱川分校3年の上田^{さやか}紗茄です。

肱川分校では、全員が部活動に入り、放課後1時間程度活動しています。私は、卓球部の主将をしています。日々の練習に真剣に取り組むことだけでなく、準備や片付けなど、みんなが気持ちよく練習できるように気を付けています。また練習中には、お互い声をかけあい、楽しく練習をすることができています。全国大会県予選や県総体では、よい結果が残せるよう、頑張りたいです！



一回は大洲農業高等学校からです。一

きらめき
ニュース
シリーズ
お知らせ
情報ひろば
図書館
未来を拓く
保健センター
相談・救急

大洲市が世界 1 位を獲得

昨年9月、大洲市の歴史的資源を活用した観光まちづくりの取り組みが、オランダの国際認証団体であるグリーンディステーションズによって「2022年世界の持続可能な観光地TOP100」に選定されました。

そして、選定された持続可能な観光地の事例を6部門に分類し、部門ごとに最も優れている事例を表彰する「グリーンディステーションズストーリーアワードITBベルリン」において、大洲市が「文化・伝統保全」部門の世界1位を受賞しました。当表彰式が、3月8日(水)にドイツ・ベルリンで開催され、大洲市の地域DMO（観光地域づくり法人）として申請主体を担った一般社団法人キタ・マネジメントが参加しました。



「FIRST PLACE（1位）」は日本初



古民家の改修事例（左：改修前 右：改修後）



ドイツ・ベルリンでの表彰式



中村知事へ報告

肱南地区では、歴史的建造物である古民家などの空き家の増加や取り壊しによる町並みの喪失が問題となっていました。大洲市では、こうした地域の課題解決のため、キタ・マネジメントを立ち上げ、宿泊事業者や金融機関などと連携を図りながら、往時の雰囲気を残した改修を行い、町並みを保全しています。さらに、改修した古民家をホテルや店舗として活用することで観光客を呼び込み、地域経済も活性化させる持続可能な観光まちづくりを行っています。

今回のアワードでは、このような持続可能な観光まちづくりの取り組みが、世界的に評価され、日本で初めて世界1位を獲得しました。これまでの同アワードにおける国内の最高順位は、別部門で岩手県釜石市が受賞した3位でした。

また、4月4日(火)には市長とキタ・マネジメントが県庁を訪問し、中村時広^{ときひろ}知事に受賞を報告しました。知事からは「今あるものを利用して成功するモデルケースとなってくれた」と取り組みを評価されました。

大洲市が「地域の文化を未来へとつなぐ」を基本理念として、官民連携で進めている「歴史的資源を活用した観光まちづくり」の取り組みが、世界の持続可能な観光地2022TOP100選出に続き、今般「グリーンディステーションズストーリーアワード」の「文化・伝統保全部門」で世界1位を受賞できたことを大変光栄に思います。ご支援・ご協力いただいた関係機関、スタッフの皆様、そして温かいご理解とご支援をいただいた市民の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。これからも大洲市の豊かな自然や文化、歴史的風土を大切に守りながら「住んでよし」「訪れてよし」「働いてよし」の観光まちづくりを進めます。

大洲市長 二宮隆久^{たかひさ}



檜谷の棚田さんかん日

檜谷地区では棚田の景観を守っていこうと檜谷棚田保存会が「オーナー制度」を採り入れていて、オーナー希望者向けの「棚田さんかん日」が3月25日(土)から27日(月)の3日間で開催されました。

会場では来場者に棚田米で作ったおにぎりや豚汁などが振る舞われ、来場者の一人は「子や孫と一緒に季節の移り変わりを感じながらいろいろな作業を楽しみたい」と話していました。



表彰おめでとうございます

大洲市スポーツ推進委員の谷本俊一^{しゅんいち}さんに「文部科学大臣表彰」が贈られたことに伴い、3月28日(火)に市役所で表彰式を行いました。

谷本さんは昭和49年度から現在までスポーツ推進委員として大洲市のスポーツ発展のための活動に従事し、その長年にわたる功績が認められ、今回の表彰となりました。令和4年度の表彰者は全国で84人、愛媛では谷本さんが唯一の表彰者となります。



市内の雇用拡大に向けて

地域で働くことができる環境を創りだし、「住み続けたいまちづくり」を目指していくことを目的として大洲市と愛媛労働局（瀧原^{あきお}章夫局長：写真左）の大洲市雇用対策協定締結式を3月29日(水)に市役所で行いました。少子高齢化や若者の市外流出による労働力人口の減少や人手不足分野の人材確保など雇用に関するさまざまな課題の解決を図るため、大洲市と愛媛労働局の雇用対策を一体となって進めていきます。



上須戒さくらまつり

4月2日(日)、4年ぶりの上須戒さくらまつり^{めいげん}が明玄ふれあい広場（旧大洲少年自然の家）で開催されました。19回目となる今回は、地元の人たちによる杵つき餅やちらし寿司などのバザーで来場客をもてなしたほか、よさこい演舞やスコップ三味線などのイベントが開かれました。

会場やその付近では約300本の桜が満開を迎え、多くの人で賑わいました。

地域活性化起業人が着任しました

4月3日(月)、総務省が推進する「地域活性化起業人(企業人材派遣制度)」の活用により、バリューマネジメント株式会社から横山^{まみこ}真美子さんが地域活性化起業人として大洲市に着任しました。

横山さんは着任前は人材開発などを担当。今後は専門知識や業務経験を生かしながら観光まちづくり課の一員として、持続可能な観光まちづくり推進計画の策定などに携わっていきます。



ありがとうユリエナ、こんにちはダニエル

契約期間が終了したALT(外国語指導助手)のMosquera Yuliena(モスケラ・ユリエナさん:写真右)と新しく着任するIbarra Eugenio Daniel(イバーラ・エウジェニオ・ダニエルさん:写真左)の2人が4月14日(金)に市役所を訪れました。ユリエナさんは喜多小学校をベース校として肱東中学校や肱川中学校も担当。「大洲はとても明るい子が多く楽しく過ごせた。ありがとう」と1年間の感想を語ってくれました。



ようこそ消防団へ

令和5年度の消防団入団式が4月13日(木)に市役所大ホールで開催されました。今回、新たに消防団の仲間入りをするのは男性12人、女性2人の14人。

長浜分団第4部に入団する仲岡エリさんは「災害の際に物資の仕分けなどでは女性の目線が必要だという話を聞き、知人の勧めもあって入団した。新しい制服に袖を通して緊張しているが女性ならではの視点を生かして頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

また、大洲市消防団は団員の確保に積極的に取り組んでいることが評価され、3月に総務大臣から感謝状が贈呈されています。



【ニンジンとツナの炊き込みおにぎり】



材料（4人分）

米	2合
水	350ml
ニンジン	100g
塩昆布	12g
ツナ缶（油漬）	70g
酒	大さじ2

作り方

- ① 米は洗って、350mlの水で30分程水に浸す。
- ② ニンジンはすりおろす。
- ③ ①に②と塩昆布・ツナ缶・酒を入れ、炊飯する。

ニンジンの栄養

ニンジンの鮮やかなオレンジ色はβカロテンによるものです。βカロテンには老化や病気を防ぐ抗酸化作用のほかに、体内でビタミンAに変換されて免疫力を高める働きがあります。



知っておくとお得「ニンジンの保存」

新聞紙やラップで包み、野菜室で保存しましょう。また、土の中にいるときと同じ状態の立てた形で保存することで、ニンジンの鮮度を保つことができます。

【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和の **DXのすゝめ**

第5回



今回は「DXによって海外の先進国はどのように変わっているか」をお伝えします。

例えば、デジタル先進国として知られるエストニアは、2005年に世界で最初にネット投票を導入しました。ネット投票とは、投票所に足を運ばなくても、有権者が自身のパソコンやスマホから、ネットを通じて選挙の投票ができる仕組みです。エストニアでは、今や50%近い有権者がこのネット投票を利用しています。特に興味深いのは、若い世代だけでなく、高齢世代による利用が年々増加していることです。デジタル化の取り組みは、しばしば若い世代向けのものだと捉えられがちですが、実は高齢世代にも恩恵があると私は考えています。日本でも、まずは在外邦人のインターネット投票に向けた検討が進んでいるところです。将来的に日本の選挙や投票の常識が変わる日も来るかもしれません。

次回も、海外の先進国におけるデジタル化の取り組みについて、引き続きご紹介いたします。

文化財

大洲市指定天然記念物
江南堂のサルスベリ
江南堂所有



このサルスベリは肱川町中居谷地区にある江南堂の境内にあります。江南堂は江戸時代中期に編さんされた『大洲舊記』に記述がみられ、当時は「江南庵」と呼ばれる薬師堂（薬師如来をおさめたお堂）であったとされています。また、このサルスベリに太鼓をぶら下げて念仏を唱えていたと伝わっています。

この木は根回り1.4m、樹高4.1m、枝張りは東西と南北ともに約13mの大きさです。サルスベリは「百日紅」とも呼ばれ、夏から初秋にかけて長く赤い花を咲かせる様子に由来します。

江南堂に植えられた時期は記録に残されていませんが、推定樹齢は約300年とみられ、市内にあるサルスベリとしては最も古いと考えられます。

（平成3年11月5日指定）